

ストーリーの翻訳 > 3.PAST AND PRESENT

アレックスが自分のアパートに戻る（爆破される）ところから

<http://www.youtube.com/watch?v=pIEtgXkxsZ0>

08:40まで書き起こし済み

このPROTOTYPEプレイ動画シリーズには字幕が出ているので、時間がある人は少しでもいいので英文を載せていってください。書式が分からない場合はベタ書きで構いません。

- アレックスがアパートに入った後のムービー
- 敵増援イベント
- 目標発見
- Cptn Mac Marshall の記憶

3.PAST AND PRESENT

[過去と現在]

ALEX MERCER(以下、アレックス) : Home. My home.

- 家 俺の家か。

アレックスがアパートに入った後のムービー

BLACKWATCH TROOPER : Target is in the building!

- 目標、建物に侵入！

BLACKWATCH OFFICER : Target is hot. Light it up!

- そろそろいいだろう、爆破しろ！

アレックス : He's the one...

- あの野郎か...

敵増援イベント

ALEX : Awww shit! here comes the cavalry!

- ああ クソったれ！ ヘリ部隊のお出ましか！

Cavalryは騎兵、現代では航空騎兵隊 = ヘリ部隊のことを指します。空挺部隊の場合、Airborneと表記すると思います。

目標発見

ALEX : gotta get him out of there...

- 引き摺り出してやる...

ALEX : Gotcha now!(?)

- Gotchaは I got you. が原型です。

直接的には、「あなたを捕まえた」という意味で、そこから発展して、「あなたの言わんとするところを捕まえた」つまり、「分かった!」という意味になります。口語的な表現ですね。「よっしゃ!」とか、そんな感じでしょうか?

あるサイトのコピペです。
これで正しいですかね?

Cptn Mac Marshall の記憶

CAPTAIN : Doctor, try to keep the discussion high level, we need to know what we're dealing with on the ground.

- 大尉 : 博士、概要説明を続けてくれ、我々は現場での対処方法を知る必要がある。

DOCTOR : Its effect is...variable. When it DOES manifest, it makes the Idaho strain look like the common cold.

- 博士 : その影響は...一概には言えません。発症した場合は、あのアイダホ菌を生成します。普通の風邪によく似た症状を起こす菌です。

DOCTOR : I don't need to remind you gentlemen how close we came the point-of-no-return in Idaho.

- 我々がかつてアイダホで、引き返せない状況にどれだけ差し迫っていたかはご存知のはずでしょう?

DOCTOR : Mercer's body is a bomb, filled with this weaponized pathogen, waiting to go off.

- Mercerの体は、兵器化されたウィルスを詰め込んで起爆を待つ爆弾のようなものなのです。

DOCTOR : And now it's loose in the city. Bring it in, no matter what it takes. I'd say dead or alive, but I'm not sure those classifications fit Alex Mercer any longer.

- それが現在、街中に野放しになっているんです。どんな犠牲を払ってでも、回収してください。生死は問いません...と言いたいところですが、生死という表現がもはやアレックス・マーサーに当てはまるのかわかりません。

(Bringは博士の立場から、takesは費やす・経費が掛かるという意味と考え、意識しました。どうでしょう?)

NEXT > 4.BEHIND THE GLASS
